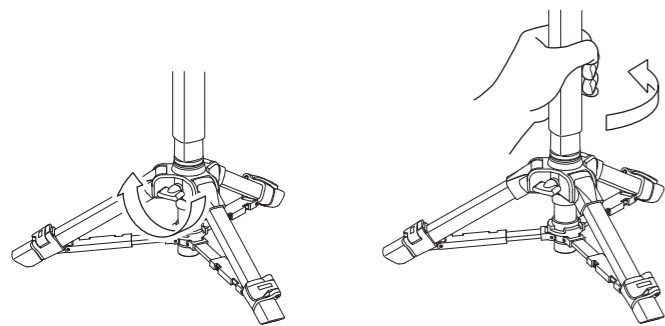


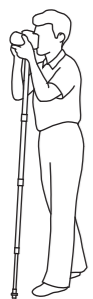
ポールの取り外し



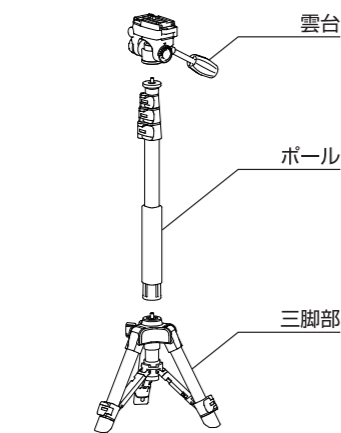
初めに、三脚部のエレベーター
ストッパーをしっかりと締め込みます。

次に、ポールを握って力強く反時計
まわりにポールをまわします。

一脚として使う時

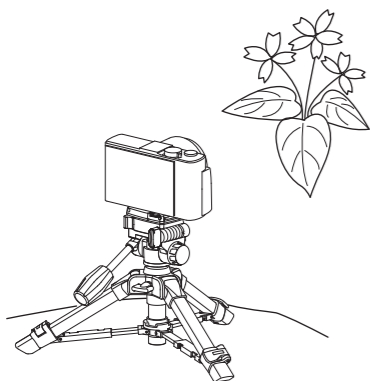


付属のアダプターセットを
取り付けると、一脚として使用する
事ができます。
雲台を併用するとカメラの取り回り
範囲が広がります。

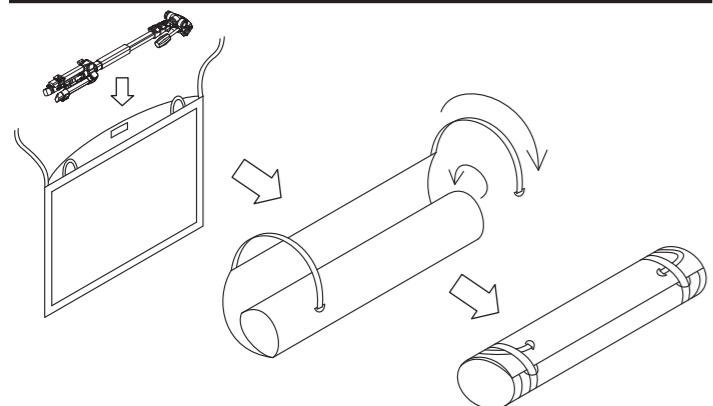


はじめに、三脚部とポール、雲台を
分離させます。

テーブル三脚

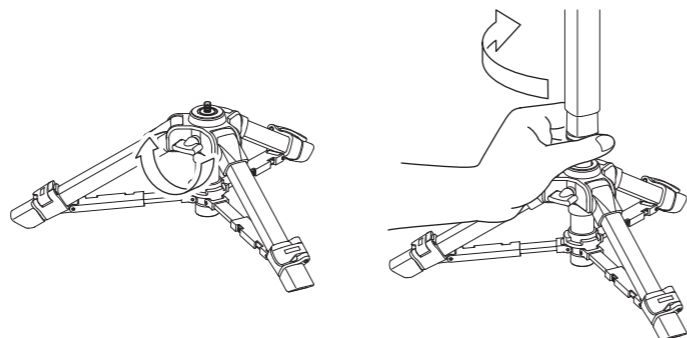


ポールを取り外すことによって、テーブル三脚として使用することができます。
地面や床において使えば、ローポジションでの撮影が可能です。



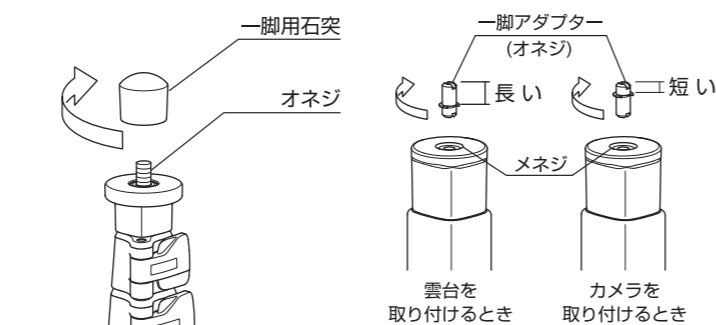
付属のケースの中に製品を入れ、巻くように折り畳んでから紐で留めると、
収納に便利です。

ポールの取り付け



初めに、三脚部のエレベーター
ストッパーをしっかりと締め込みます。

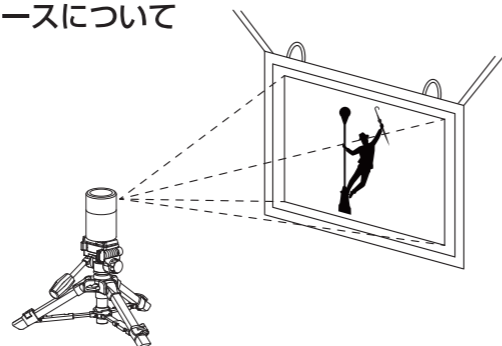
次に、ポールと三脚のネジを合わせ、
ポールを時計まわりにねじ込みます。



次に付属の一脚用石突を時計まわり
に回して、
ポールのオネジに取り付けます。
一脚用石突を取り付けた側を
下にして使用してください。

付属の一脚アダプターを時計まわりに
回して、ポールのメネジに
取り付けます。
ポールに雲台を付けるときは長い方を
上に、カメラを直接付けるときは短い
方を上にして取り付けてください。

付属のケースについて



付属のケースの白い面は、モバイルプロジェクター等の映像を投影する
簡易的なスクリーンとして使用することができます。
テーブル三脚の状態にして、モバイルプロジェクター等を取り付けると、
向きや角度の調整を簡単に行えます。
その際に、外したポール部をケースの中に入れて、スクリーンが安定します。
プロジェクター等の使い方に関しては、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

禁止



・三脚や雲台各部へのオイル・グリス
等の補充は絶対にしないでください。
破損、故障の原因となります。
可動部の動きが悪くなってきた
場合は、お買い求めの販売店または
アフターサービスへご依頼ください。

・火に近づけないようにしてください。
夏など高温になる車内などに長時間
放置しないでください。

お手入れ

よごれたときには、中性洗剤を
やわらかな布につけてふいてください。
その後、きれいな乾いた布でふいて
ください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後
5年を目安に保有しております。
したがって本期間中は修理を
お受けいたします。

インターネット・ホームページ
<http://www.slik.co.jp/>

*改良のため、お断りなくデザイン、仕様を
変更することがありますのでご了承ください。
©2023 SLIK CORPORATION

SLIK

スタンドポッド GX camper

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことに
ありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき
正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは
必ず保管し、わからないときには再読してください。

⚠ **注意** このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり
物的損害の発生が想定される内容です。

🚫 **禁止** このマークは禁止 (してはいけないこと) 内容です。
説明にしたがい事故のないようお使いください。

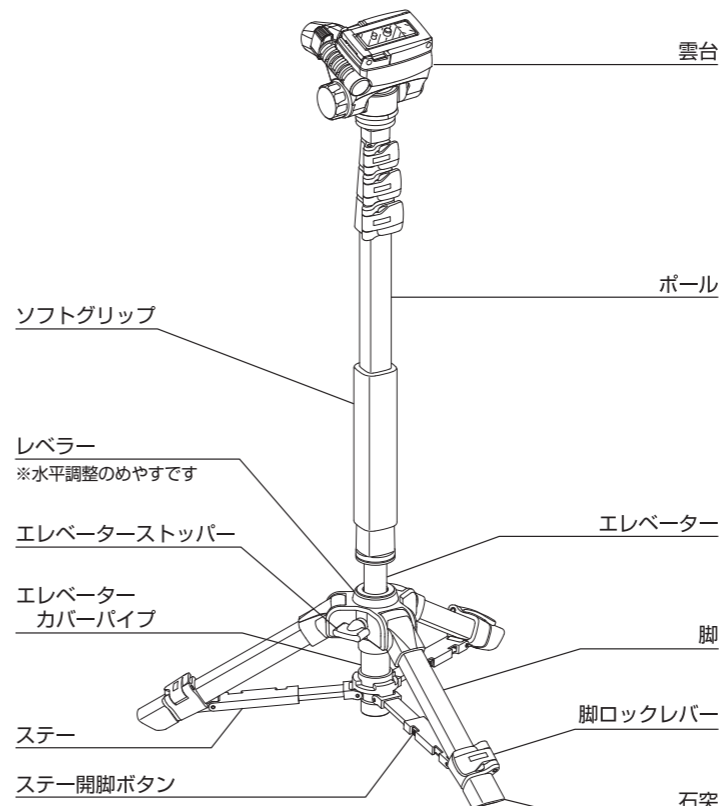
仕様

縮長	710 mm
全高	1,885 mm
質量	1,005 g

W695

ケース付

各部名称



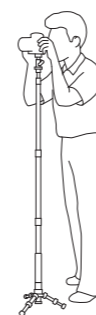
※三脚用のレベラーは水平調整のめやすです。
カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。

注意

ソフトグリップは消耗品です。永久的に使用できるものではありませんので傷んだら
お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。
(無料修理保証の対象外です。)
※まれに黒い色が付着することがありますのでご注意ください。

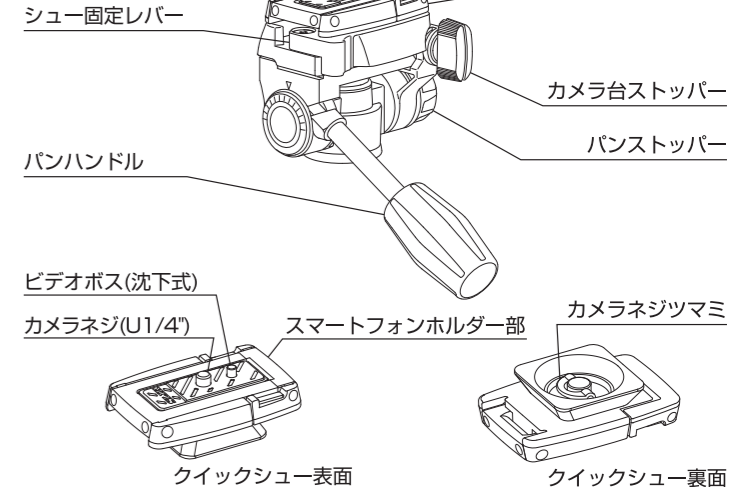
使用上の注意

注意



使用中は必ずそばについて離れないでください。
製品が転倒して機材の破損や使用者・周囲の人
へのケガ、物損等をおこすおそれがあります。

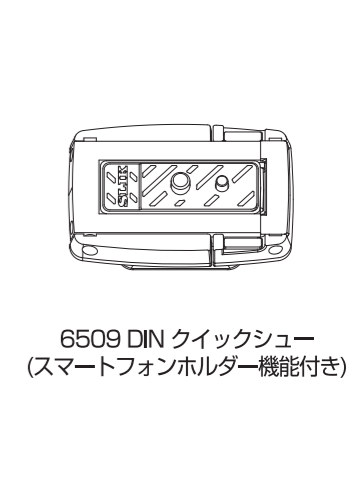
雲台



付属品



別売品



搭載する機材

禁止

最大搭載質量：1 kg

これ以上の機材は載せないでください。
また、上記搭載質量以下のものであっても
重心位置によりバランスの取りにくいものも
あります。
この製品は一般の三脚の様に安定しませんので、
使用中は必ずそばについて離れないでください。

使用可能なスマートフォンサイズ

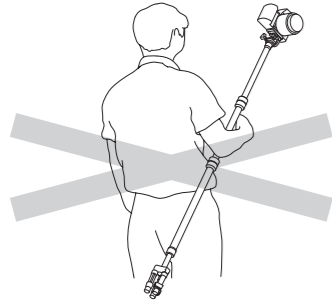
注意

幅：58mm ~ 90mm
厚さ：12mm 以内

スマートフォンや外装ケースの形状によっては、
上記寸法内でも確実な取り付けができない場合が
あります。

持ち運びのとき

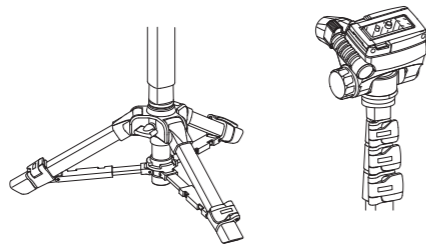
⊘ 禁止



カメラは三脚や一脚から外して持ち運んでください。カメラの落下、使用者や周囲の人へのケガ、物損等を起こす可能性があります。

機材のセットアップ

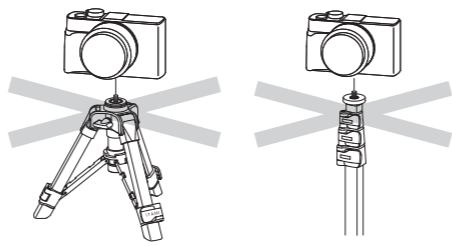
⚠ 注意



カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、落下や転倒を防いでください。また、3本の脚を十分に開いてください。脚の開きが不十分だと不安定でカメラブレや転倒の原因になります。

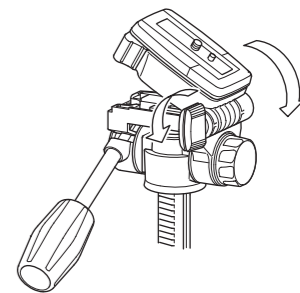
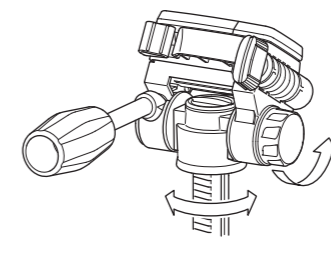
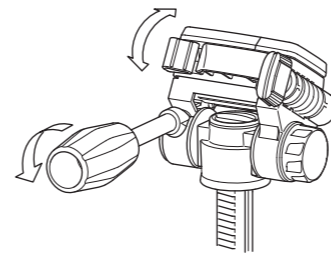
雲台取り付けネジ

⊘ 禁止



カメラを直接三脚やポールに取り付けることは、故障の原因になります。雲台などを介して取り付けてください。一脚として使用する場合は、付属のアダプターセットを使用してください。アダプターセットの取り付け方は、「一脚として使う時」を参照してください。

雲台の使い方

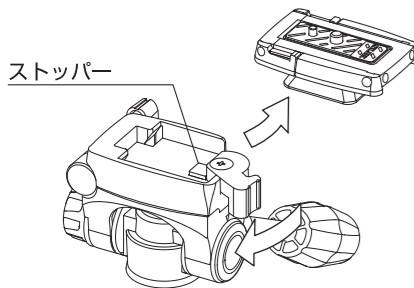


ビデオにもスチルにも使える3動作分離雲台です。雲台の角度調整を行うときは、必ずハンドルやストッパーをゆるめてから操作してください。パンハンドルをゆるめると、カメラを上向き・下向きにティルトできます。

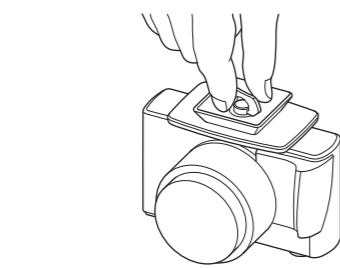
パンストッパーをゆるめると、カメラを左右方向にパンできます。

縦位置撮影は、カメラ台ストッパーをゆるめて、カメラ台をたててください。

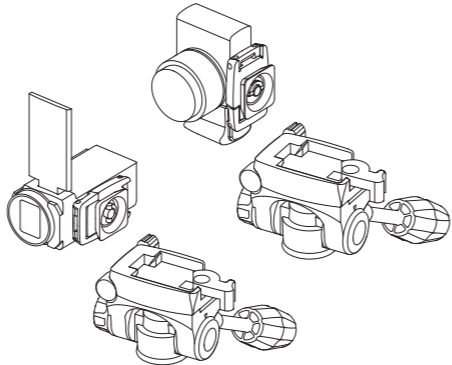
カメラの取り付け方



シュー固定レバーを起こしながらクイックシューを取り外します。このときシュー固定レバーは、ストッパーにより起きた状態になっていますので、無理に戻さないように注意してください。

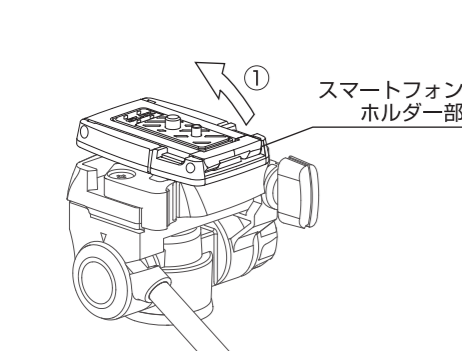


ビデオボスは沈下式のため、ビデオカメラ・デジタルカメラどちらにも使えます。ビデオカメラの場合は、ボス穴とビデオボスを一致させて取り付けてください。カメラの三脚取り付けネジとクイックシューのカメラネジを合わせてツマミをしっかりと締め付け、雲台にシューを戻し、シュー固定レバーでしっかりと締め込みます。

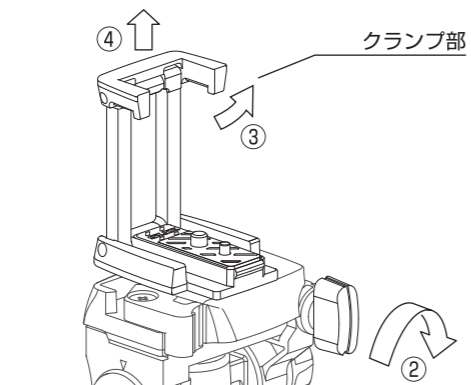


クイックシューは縦向き・横向きどちらでも取り付けできます。ビデオカメラの場合は縦向き、デジタルカメラの場合は横向きで取り付けると安定して撮影できます。

スマートフォンの取り付け方

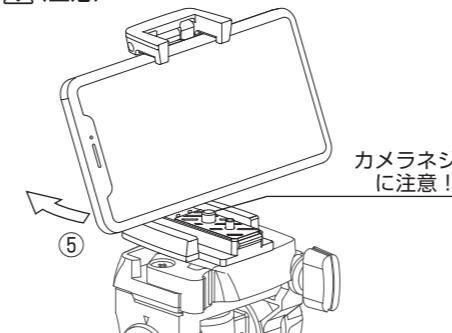


スマートフォンを取り付けるときは、クイックシューを図のような向きで取り付けてください。① クイックシューのスマートフォンホルダー部を矢印の方向に起こします。



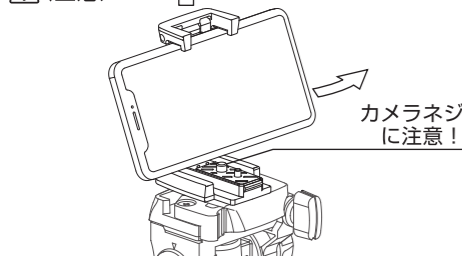
② カメラ台ストッパーを締め付けます。③ クランプ部を矢印の方向に起こします。④ クランプ部を真上に引き上げます。

⚠ 注意

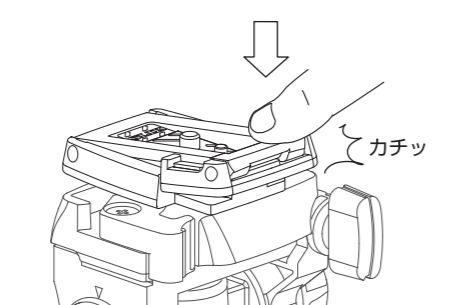


⑤ クランプ部を引き上げながら、スマートフォンを取り付けます。注意：スマートフォンを取り付けるときに、カメラネジに当たらないように注意してください。

⚠ 注意



使用後は、クランプ部を引き上げながらスマートフォンを取り外します。注意：スマートフォンを取り外すときに、カメラネジに当たらないように注意してください。また、スマートフォンホルダー部に指をはさまないように気を付けてください。



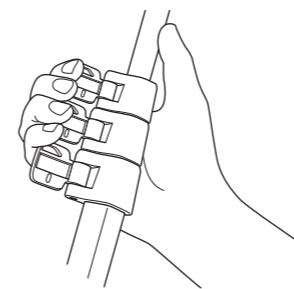
スマートフォンホルダー部を収納するときは、クランプ部をたたんでからスマートフォンホルダー部をカチッと鳴るまで押し込んでください。

スマートフォン取り付け時の注意事項

⚠ 注意

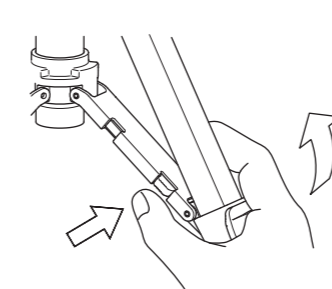
・スマートフォンや外装ケースの形状によっては使用可能サイズ内でも確実な取り付けができない場合があります。使用前にご確認ください。
・スマートフォンを取り付けるときに、カメラネジに当たらないように注意してください。また、指をはさまないように注意してください。
・スマートフォンホルダー部やクランプ部を過度な力で引いたり奥側に倒すと、部品が破損する恐れがあります。過度な力を掛けないように注意してください。

ポールの伸縮

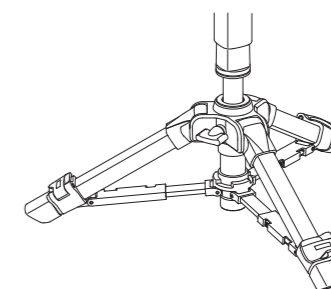


ポールロックレバーを起こすとポールの伸縮がフリーになり、倒すとロックします。起こし方が十分でないとスムーズに動かないことがあります。

開脚角を変える

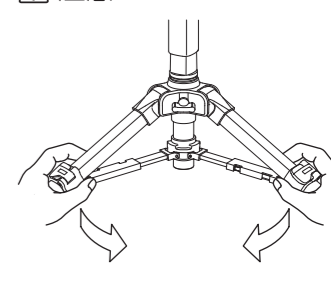


ステー開脚ボタンを押しながら開くと、ステーが伸びて開脚角度が広がります。



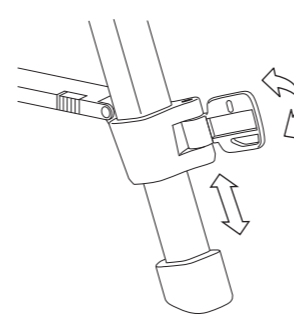
全ての脚を同じように開脚させると、安定度を高くすることができます。なるべく脚を開いてから使用してください。

⚠ 注意

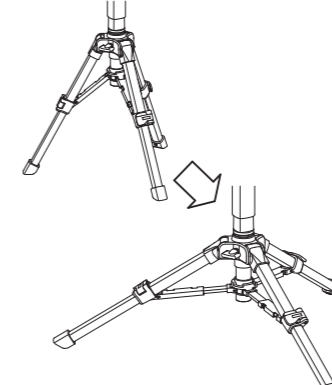


開脚角度を戻すときは、脚を持ったまま閉じると自動的に元の開脚角度に戻ります。戻りにくい場合は、ステーを少し持ち上げてから脚を閉じてください。脚を閉じるときに指などを挟まないように注意してください。

脚の伸ばし方

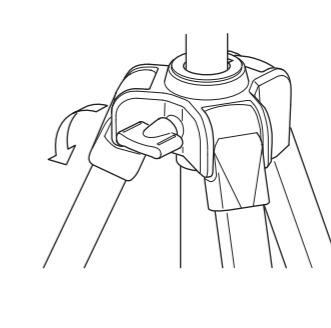


脚ロックレバーを開くとパイプは伸縮できます。希望の位置でレバーをしっかりとロックしてください。



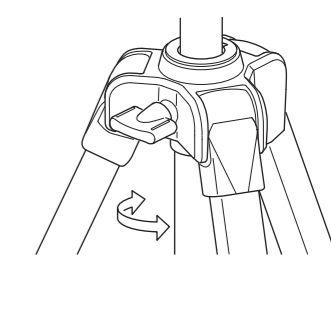
脚を伸ばすときは、安定度を高めるために開脚角度を広くしてお使いください。

エレベーターの使い方



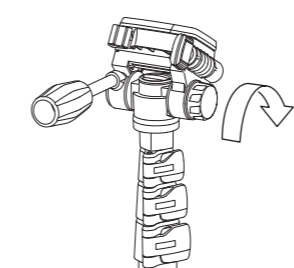
エレベーターストッパーをゆるめると、エレベーターを上下できます。エレベーターから手を離す前にエレベーターストッパーをしっかりとロックしてください。

エレベーターのかたさ調整

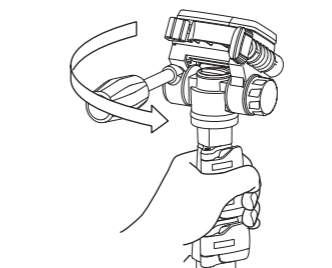


エレベーターの動きがかたすぎたり、ゆるすぎたりしたときは、カバーパイプをまわしてかたさを調整してください。

雲台の取り外し

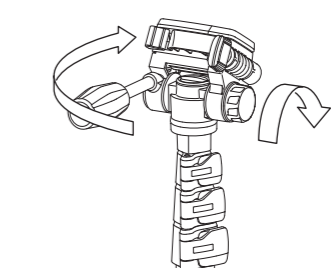


他の雲台やアクセサリをこの脚に取り付けたいときは、次の方法で交換してください。初めに、雲台のパンストッパーをしっかりと締め込みます。



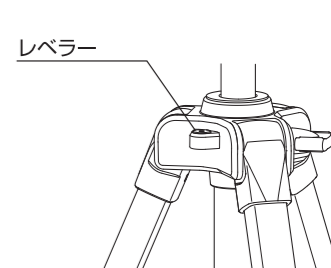
次にポールと雲台を握って力強く反時計まわりに雲台を回します。これで雲台がゆるみます。

雲台の取り付け



雲台(アクセサリ)とポール上部のネジを合わせて雲台を時計まわりに止まるまで回します。ポールをしっかりと握って雲台をさらに時計まわりにねじ込みます。

レバー



三脚の本体上部にあるレバーを使用すると、写真撮影時に水平調整のめやすとすることができます。